

令和3年12月21日

東部農林水産振興センター出雲事務所農業部

標 題	「水田園芸」「人材確保」をテーマに、出雲集落営農組織連絡協議会地区別研修会が開催される
-----	---

(ダイジェスト)

JAしまね出雲集落営農組織連絡協議会では、新型コロナの感染拡大により全体での研修・交流機会が十分に設けられずきたため、協議会として初めてとなる地区別研修会（営農経済センター単位）を11月から12月にかけて開催しました。研修テーマを各地区協議会と協議し、「水田園芸」で2地区、「人材確保」で3地区（1地区は重複）の研修会が各々開催されました。

JAいずも出雲集落営農組織連絡協議会では、7月28日の総会で、新型コロナの感染拡大により全体での研修・交流が制約されてきたため、初めて地区別研修会を企画することになりました。

研修内容は各地区ごとに決めることになったため、農業部からは「集落営農組合の経営に水田園芸品目を取り入れませんか」をテーマにしてはどうかと協議会事務局へ提案しました。地区協議会からは、集落営農組織の役員や構成員の高齢化が進んでいることから「次世代の人材確保」をテーマにしたいとの要望も出たことから、各地区での水田園芸の取組状況も勘案し、結果として下記の通り、「水田園芸」で2地区、「人材確保」で3地区（1地区は重複）の研修開催につながりました（講師はともに農業部）。

【地区別研修会開催状況】 ※河南地区は未実施

西部地区	11月26日(金)	17:00から	「水田園芸」「人材確保」
南部地区	12月1日(水)	18:30から	「人材確保」
東部地区	12月14日(火)	15:00から	「人材確保」
中部地区	12月21日(火)	10:30から	「水田園芸」

「水田園芸」では、機械化体系が確立され、JA集荷調製施設も整備されて取り組みやすくなった「タマネギ」の事例を基に、園芸品目への取り組みで収益を確保し、人材確保にもつなげようと訴えました。

「人材確保」では、県内事例を紹介するとともに、各地区の参加組織の中からも事例を紹介していただきました。組合長からは、「人材確保のやり方は様々あるが、声かけ、コミュニケーションが大切」と異口同音に語られました。

今回、多くの営農組織に情報提供ができたことから、今後は、具体的なターゲットを決めて推進を図りたいと考えています。